

令和6年度 第2回学校運営協議会 実施報告

○開催日時 令和7年1月31日（金）

授業見学 9時10分～10時00分（1校時）

学校運営協議会 10時10分～11時05分

○委員

会長	大橋 良二	（株）しずくいし 代表取締役
副会長	山口 妃路美	雫石高等学校 PTA 会長〈欠席〉
委員	上野 幸彦	雫石高校を支援する会 会長〈欠席〉
委員	柿木 典子	社会福祉法人雫石町社会福祉協議会
委員	菊地 正道	雫石町立雫石中学校 校長
委員	熊谷 一也	盛岡西消防署 雫石分署長〈欠席〉
委員	小林 周平	雫石商工会青年部
委員	櫻田 紀子	雫石町総合政策課係長
委員	櫻田 七海	NPO 法人まちサポ雫石 理事長
委員	佐藤 広志	雫石高等学校 同窓会長〈欠席〉
委員	下川 恵司	雫石町生涯文化スポーツ課社会教育指導員
委員	藤本 達也	永昌寺住職 雫石保育園理事長〈欠席〉
委員	吉田 修	雫石プリンスホテルファイナンシャルコントロール支配人〈欠席〉
委員	菊池 由美子	岩手県立雫石高等学校長
雫石高校	伊藤 康二	副校長
雫石高校	嵯峨 真由美	事務長
雫石高校	田沼 貴之	総務主任
雫石高校	中村 修子	教務主任

○次第

1 開会

2 会長挨拶

3 校長挨拶

4 教育活動の概況説明

5 ご意見、提言

- ・台湾派遣事業には何名が応募したか？

→5名の応募であった。

- ・台湾派遣旅費の補助は県などからの補助か？

→本校会計からの補助とした。

以前は他の機関がドイツへ生徒派遣を行い、その参加生徒に補助金を出していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から数年間中断となっている。そこで計上していた補助金を充てた。

- ・文化系の今年度の活躍が素晴らしい。キャリア教育の指導も素晴らしい。人数が増えてくると様々な特性をもつ生徒も増え、教員の負担が増すと思われる。それらに対応する人員の配慮はあるのか？

→本校では通級指導を実施してるので、1名増員されており、配慮はいただいている。今年度は生徒数が増加し苦慮した部分もあるが、ゆっくりと進歩している。

- ・生徒の個性を生かし卒業する時に立派な人になってほしい。
- ・きちんとした社会性を身に付けさせたい。
- ・地域との結びつきが小・中学校で深まっている。雫石高校は1年生の数が増加し、中学校との交流も深まってきている。雫石中学校は中学校の中でも県内で一番、地域と交流を行っている学校である。雫石高校は地域から誤解されている面がある。小・中学校の活動に雫石高校も入っていき、小・中・高の連携を深めていくことも必要である。以前は小学校と川の清掃などの活動も行っていた。そのような活動は小学校にもメリットがある。
- ・1年生の入学生が増加した。中学校と高校で情報を共有し、連携を深めていきたい。中学校と高校の生徒レベルでの交流を行うことも必要。雫石高校が魅力をもち、高い意欲をもった生徒が集まるようになって欲しい。雫石高校の活動の成果を中学生にも見せて欲しい。雫石高校のウィークポイントとして、部活動の少なさがあげられる。社会体育としての枠組みをつくるといった連携も必要となってくる。
- ・静岡県富士市との交流において、郷土芸能委員会がよしゃれの指導をしてくれ、心強かった。OBの方たちも参加してくれた。
- ・雫石町と雫石高校の連携・協力関係が5年になるが、これらのことが生徒の増加につながっている。さらなる変化を考えながら情報交換ができるようにしていきたい。
- ・就職に関して、町内への就職を強化できるよう、連携していきたい。

6 閉会